## 深谷市放課後子ども教室等推進事業 令和6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

## 埼玉県放課後子供教室推進事業実施要綱に基づき、令和6年度の本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等を以下の通り公表します。

課題の類 型1	課題の類 型2	課題	課題解決のために取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の数	目標値の	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家 庭の課題	家庭等にお ける学習習 慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない又は定着していない児童が増えており学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	い、参加児童の漢字に対する興味を引き出	漢字学習に特化し、また学年を隔てた友達と授業や家庭とは異なる環境で集中して学習の機会を与えることにより、学校の授業以外で日常的に学習を行うことを促す。	参加児童を対象としたア ンケート調査で漢字学習 の項目における満足度 の割合	— %	85.0	90.0	参加者(アンケート回答者)全体として漢字学習についての満足度は高くなっているものの、教室や学年により温度差があるのが現状である。しかしながら授業や家庭とは異なる環境で学年を隔てた友達と共に漢字を学習することにより、漢字に興味を持つことやノートの文字をていねいに書くこと、漢字検定にチャレンジすること等、一定の効果をもたらしている。
③学校と家庭の課題	家庭等にお ける学習習 慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない又は定着していない児童が増えており学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	継続してがんばル〜ム(土曜日の学習支援) にちいきの先生を配置し、学習支援を行うこと で学校の授業以外での学習習慣を身につけ る。	The second secon	参加児童全体における がんばル〜ム年間平均 参加率	68.7 %	75.0	71.4	がんばル〜ムは例年5月に開設し、開設直後から1学期終了までの児童参加率は目標とする数値に達している。夏休み・冬休みなど長期休業期間の直後は参加率が低迷する傾向にあるため、日常的な学習の定着化を図るためには、2学期・3学期に継続して出席し、学習できるような環境を整えることが課題である。